

マンション防災アドバイザー プロフィール(閲覧用)

フリガナ 氏名	キムラ ヒロシ 木村 洋	【顔写真】
支援が可能な内容	☐ 防災組織に関する検討 ☒ 防災マニュアルに関する検討 ☒ 防災訓練に関する検討 ☒ 飲料水等の備蓄や防災資機材の備えに関する検討 ☐ 地域との協力体制や防災訓練に関する検討 ☐ 浸水対策に関する検討 ☒ その他（在宅避難のためのトイレ使用マニュアル作成）	
主な保有資格等	防災士、技術士（上下水道部門）、博士（工学）、臭気判定士	
派遣が可能な曜日	☒ 平日 昼 ☒ 平日 夜 ☒ 土日祝 昼 ☒ 土日祝 夜	
マンションの防災活動に対する指導及び助言の実績	主に「集合住宅の在宅避難のためのトイレ使用マニュアル」作成支援に取り組んでいます。 ①講演会活動；マンションコミュニティ研究フォーラム（2020.6 マンションコミュニティ研究会）、全国トイレシンポジウム（2020.11（一社）日本トイレ協会）、震災対策技術展（2021.2 同横浜実行委員会）、下水道展'21 災害時トイレ・下水道フォーラム（（公社）日本下水道協会）、他 ②寄稿；月刊マンション管理センター通信 5・6月号、住宅金融支援機構マンション情報BOX2021秋冬号、共著「災害とトイレ」（（一社）日本トイレ協会）、他 また、2024年10月に横浜市のマンション防災アドバイザーに登録し、直接の依頼も含め毎年10数件のマンションで「トイレ使用マニュアル」作成の勉強会、現場調査（通水試験）、防災訓練を実施しています。 ・現在、戸塚区、緑区の地域防災アドバイザー、東京都港区の防災アドバイザーに登録しています。	
地方公共団体等の官公庁又は企業等における、防災に関する管理監督的な立場としての実績	・（公社）空気調和・衛生工学会 集合住宅の在宅避難のためのトイレ使用方法検討小委員会の主査を務め、2020年6月学会ホームページに「集合住宅の災害時のトイレ使用マニュアル作成手引き」を公開しました。 ・本学会委員会活動の成果を論文にまとめ、日本建築学会大会にて3編（2021年）、空気調和・衛生工学会大会にて1編（2021年）の研究発表を行いました。 ・企業の防災イベントに主催者として関わり、マンションの排水設備・トイレの排水原理を説明し、断水時のトイレのバケツ洗浄方法の体験、指導を行っています（https://kimurahiroshi.com/?p=762）。 ・現在、（公社）空気調和・衛生工学会 災害時のトイレ対策検討小委員会主査として、非住宅を対象に災害時のトイレ対策について検討しています（2026年4月～）	
マンション防災に関するその他の実績、自己PR等	私は、1990年以降、建設会社の技術研究所で集合住宅の建築設備に関わる研究開発に取り組んでまいりました。2011年の東日本大震災を経験して、大手ゼネコンの先輩から「たくさんの免震マンションを作ってきたが、大地震発生時、トイレが使えなかったら免震マンションでも在宅避難はできないよね。マンションを作ってきた者として放っておけない。経験を生かして社会に役立つ仕事をしませんか」と誘われました。 当時、私の所属していた建設会社は、マンション建設シェアではトップ企業でもあり、我々がやらなければ誰がやるという覚悟で、「災害時の在宅避難のためのトイレ使用マニュアル」に取り組むこととしました。 大地震発生時、排水設備を点検して損傷がないことを確認するまでは、水洗トイレに水を流さないことが求められています。しかし、発災後、専門業者にすぐに点検に来てもらうことは困難です。排水トラブルを起こさずに、安心して在宅避難するには、トイレの備えが不可欠です。 震災時、建物の安全が確保されたマンションにおいて在宅避難を実現するためには、「災害時のトイレ使用マニュアル」を作成することが必要です。「集合住宅の災害時のトイレ使用マニュアル作成手引き」（※）を参考にして、トイレ使用マニュアルを作成しましょう。 ※公益社団法人空気調和・衛生工学会 集合住宅の在宅避難のためのトイレ使用方法検討小委員会作成ホームページ（https://kimurahiroshi.com/）からダウンロードできます。	